

2012年度事業報告書  
(2012年4月1日～2013年3月31日)

1. 図書館業務

(1) 資料収集

①2012年度内訳 (内容は別項のとおり)

- ・受入れ 18,611点 (詳細は館報で既報)  
特別資料 376点、図書 4,005冊、雑誌 13,909冊、写真 321点
- ・寄託 1件2点
- ・購入 特別資料 4点、図書 30冊、雑誌 92冊

② 所蔵資料総数点 1,096,863点

	特別資料	図書	雑誌	写真	寄託
本年度	376点	4,005冊	13,909冊	321枚	受託1件2点
累計	76,623点	468,946冊	546,020冊	5,274枚	65件16,277点

(2) 資料整理

各社寄贈の新刊図書雑誌をはじめ日常受入れ資料の整理を行った。  
前期特別整理期間 (6/12～16) に、書庫清掃、紅野敏郎文庫書簡仕分作業を行った。  
後期特別整理期間 (2/12～16) に、書庫清掃、書架調整作業、特別資料の着物虫干し等を行った。

(3) 閲覧等サービス (( ) 内は 2011 年度)

① 閲覧

閲覧日数 232日 閲覧者数 1,832人 1日平均 7.9人 (7.6人)

② 資料複写、資料写真サービス

資料複写 1,879件 40,672枚 1日平均 175枚 (171枚)

資料写真 493件 1,816枚 1日平均 7.8枚 (9.5枚)

③ レファレンスサービス

797件 1日平均 3.4件 (3.3件)

④ 成田分館

開館日数 24日、展示来観者 11人、閲覧者 8人

(4) 図書資料委員会

- ・6月2日、池内輝雄委員による話題提供 (文学の「満洲」—雑誌「観光東亜」を中心に)、このほか文学館資料公開について意見交換。出席 11名
- ・11月3日、栗原敦委員による話題提供 (宮沢賢治の草稿研究について)。出席 8名
- ・12月22日、恒例の古書店めぐりの報告 (八木書店、平野書店で資料を購入)、資料利用についての意見交換。出席 15名

(5) 出品等協力 <別掲>

(6) 資料管理システム

資料管理システムの更新 (2011年度事業) 完了 (6月)

新サーバーに移管、データバックアップ方法をクラウドバックアップに変更（8月）

## 2. 展覧会

### 館内展示

(1) 春季展示 4月7日～6月9日

企画展「今こそ人間愛の文学を——『白樺』の時代」展（編集：中村稔、池内輝雄）

川端康成記念室＝「川端康成の本」を併設。

(2) 秋季展示 9月29日～11月24日

創立50周年、開館45周年記念特別展「文学館活動の拠点を築く—館刊行物で迎える文学館の歩み」展（編集：池内輝雄）

川端康成記念室＝「川端康成の新聞小説」を併設。

(3) 通常展「近代の詩歌Ⅰ」6月23日～9月22日（レプリカ、複製版、写真などによる）

〃 「近代の詩歌Ⅱ」12月1日～2013年3月30日（ 〃 ）

・「震災をこえて—文学者たちの言葉」を3月1日～30日、通常展の一角に特別コーナーを設けて展示（全国文学館協議会共同展示「文学と天災地変」参加企画）

展示観覧者3,438人（開室226日、1日平均15.2人）

### 展示企画貸出

・新潮社記念文学館「愛の手紙」展（4月21日～6月27日）

・山梨県立文学館「石川啄木展」（4月28日～6月24日）

・川内まごころ文学館「樋口一葉 その文学と生涯」展（10月13日～11月15日）

## 3. 講座・講演会

(1) 文学館へ行こう！

春 第1回 4月7日 講師：中島国彦 参加者10名

第2回 4月28日 中島国彦 〃 21名

秋 第1回 10月6日 講師：中島国彦 〃 11名

第2回 11月23日 紅野謙介 〃 19名

(2) 資料は語る 2012年度「文学の＜大正＞—滝田樗陰コレクションを中心に」

第1回 4月21日 山口直孝：志賀直哉『雨蛙』の問題—文学者をめぐる葛藤 受講28人

第2回 5月19日 千葉俊二：大正期の谷崎—『異端者の悲しみ』を中心に 〃 35人

第3回 6月23日 伊藤一郎：芥川龍之介の詩・書・画 〃 39人

第4回 9月15日 岩橋邦枝：野上彌生子の百年 〃 41人

第5回 10月20日 荻野アンナ：日本のデュラス、宇野千代 〃 48名

第6回 11月17日 池内輝雄：室生犀星—詩と小説のあいだ 〃 36名

(3) 声のライブラリー

第69回 5月12日

井上荒野「泣かなくなった物語」（『ハニーズと八つの秘めごと』より）、宮内勝典『ぼ

くは始祖鳥になりたい』、鷹羽狩行『山河』

司会：佐藤洋二郎 参加者 55 人

第 70 回 9 月 8 日

米川千嘉子『あやはべる』、いしいしんじ「その場小説」、田口犬男『自然は神』他

司会：小池昌代 参加者 46 人

第 71 回 11 月 10 日

岩阪恵子『淀川にちかい町から』、関川夏央「クリスマスイブの客」、楊逸「荊楚歳時記」

司会：佐藤洋二郎 参加者 50 人

第 72 回 2 月 9 日

小池真理子『沈黙のひと』、池井昌樹『手から、手へ』、『明星』他、青山七恵「散歩」

司会：小池昌代 参加者 61 人

(4) 第 49 回夏の文学教室

「文学・「土地」の力」（読売新聞社後援、7/30～8/4、有楽町・よみうりホール）

＜プログラム 別掲＞

講師 19 名 聴講者 1 日平均 631 人（昨年 494 人）

第 23 回から引き続きポスター、チラシなどの印刷物について小学館の協力をいただいた。

(5) 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理（8 月 21 日～25 日）

講師：坂上弘、十川信介、東郷克美、紅野謙介、日高昭二、宗像和重、金子明雄、十重田裕一、中島国彦、安藤宏、池内輝雄、事務局職員

受講者：19 大学ほか 40 名（大学院生 12 名、学部学生 18 名、文学館・図書館・博物館 5 名、一般 5 名） 単位（2 単位）取得希望 14 名（近代文学 1 名、博物館実習 13 名）

(6) 文学館職員研修講座

1 月 30 日～2 月 1 日 参加：11 館 11 名（有島記念館、青森近代文学館、藤沢周平記念館、田端文士村記念館、林芙美子記念館／新宿歴史博物館、町田市民文学館ことばらんど、鎌倉文学館、大岡信ことば館、若州一滴文庫、司馬遼太郎記念館、高知県立文学館各 1 名）

#### 4. 刊行物

(1) 「文学者の手紙」（館編、博文館新社発行、「日本近代文学館資料叢書」第Ⅱ期）

第 8 回配本別巻『写真アルバム』（編集翻刻・池内輝雄、紅野敏郎、曾根博義、十川信介）の準備（本文校了済、博文館新社で製作進行中）。

(2) 紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第 8 号

2013 年 3 月 20 日刊行、B5 判 220 頁、400 部、頒価 1,000 円

（エッセイ：下中美都、水田宗子、北村薫、伊藤純、内堀弘／論考：島村輝、林淑美、伊藤一郎、高橋孝次、大橋毅彦、高橋秀晴、安藤宏／資料紹介：滝田樗陰の小説、片岡鉄兵追悼文集、片岡鉄兵書簡・宛書簡）

(3) 『花々の詩歌』（館編、青土社から 2013 年 4 月 20 日刊行予定）の刊行準備

## 5. 全国文学館協議会

- ・6月13日、幹事会、展示情報部会世話人会、2012年度総会、懇親会  
総会参加 43館・団体56名
- ・会報第53号(6/13)、第54号(10/31)、第55号(1/31)を発行
- ・深沢七郎文学記念館が退会、会員は99館・2団体となった。
- ・第6回資料情報部会を11月30日、大岡信ことば館にて開催、参加42館・団体53名。
- ・『全国文学館ガイド』増補改訂版(2013年1月30日、小学館から刊行)
- ・2013年3月1日から「文学と天災地変」をテーマとする展示(コーナー展示等)を会員館にて同時開催する。参加館41館。
- ・3月8日、第6回「資料に関する共同討議」開催
- ・全国文学館協会紀要第6号、3月31日刊行。

## 6. 広報

館報「日本近代文学館」247号(5/15)、248号(7/15)、249号(9/15)、250号(11/15)、251号(1/1)、252号(3/15)を発行。

## 7. 創立50周年・開館45周年記念事業

6月1日、第5回周年記念事業委員会を開催。

(1)『近代文学草稿原稿研究事典』(館編、八木書店刊行、2014年3月刊行予定)

7月20日、8月21日、10月1日、編集会議

(2)『日本近代文学大事典』増補改訂

7月20日、講談社の意向確認(紅野謙介・中島国彦理事、石坂秀之 講談社文芸図書第一出版部長)

8月20日、出版デジタル機構と話し合い(紅野謙介理事、植村八潮 出版デジタル機構取締役会長、沢地均ポット出版代表取締役)

(3)川端康成展(パリ日本文化会館、2014年秋開催予定)

9月5日、編集会議(川端香男里 川端康成記念会理事長・館評議員、坂井セシル パリ第7大学教授、和田博文 館評議員、坂上弘 理事長、中島国彦 理事)

7月31日、10月4日、国際交流基金と事務局の打合せ

10月11日、パリ日本文化会館・竹内佐和子館長と坂井、和田氏の協議

11月16日、パリ日本文化会館・アルデュイニ氏と坂井、和田氏の協議

11月17日、中島国彦、細川興一理事と事務局で、工程表作成に向けて打合せ

2013年1月11日、編集会議(川端・坂井編集委員、中島理事、事務局)

(4)ホームページ刷新

7月20日、業者への説明会(紅野謙介理事、参加4業者)

9月21日、試作画面のプレゼンテーションと見積り提出(紅野謙介理事、参加3業者)

9月26日、委託業者を有限会社エフ・ディ・エスに決定

10月13日、委託業者と第1回打合せ(紅野理事、事務局)

3月15日、テスト版納品、4月1日公開開始。

## 8. 運営審議会

- ・6月9日、2012年度運営審議会を開催（委員8名出席）

## 9. その他

- ・4月3日、新職員・田村瑞穂、土井雅也、宮西郁実就業。
- ・4月5日、保有債券の一部を買換え（地方公共団体金融機構債120万ドルを売却、三井住友銀行社債126万ドルを購入）。
- ・4月25日、石橋財団から2012年度寄付助成決定通知
- ・税理士帳簿類調査2,3月分（4/19）、監事2011年度決算監査（5/24）異常なし  
税理士帳簿類調査4,5月分（7/12、7/17）、6～8月分（10/3、10/6）、9,10月分（12/6）、  
11～1月分（3/7）、異常なし
- ・5月8日、保有債券の一部を買換え（みずほフィナンシャル・グループ社債83万ドルを売却、  
第一生命社債80万ドルを購入）
- ・6月28日、内閣府公益認定等委員会に、公益法人移行後最初の事業年度（2011年6月1日～  
2012年3月31日）の事業報告・決算を提出。
- ・7月12日、官報号外第152号に決算公告を掲載。
- ・8月31日、文化庁に、移行前最後の事業年度（2011年4月1日～5月31日）の事業報告・  
決算を提出。
- ・9月7日、保有債券の一部を買換え（BMWファイナンス社債78万Aドルを売却、モルガン・  
スタンレー社債78万Aドルを購入）
- ・9月15日、館内喫茶室（ブックカフェBUNDAN）が新装開店
- ・10月1日、保有債券の一部を買換え（東京三菱銀行社債1億円を売却、日本郵船社債1億円  
を購入）
- ・10月2日、11月23日、福井県教育庁生涯学習・文化財課3名来館（図書館内に文学館を併  
設の予定で、視察・相談のため）
- ・10月24日、尾崎護評議員、中川正輝・前パリ日本文化会館館長、来館。書庫や展示室をご  
案内。
- ・11月14日、文藝春秋の庄野音比古・飯沼康司氏来館、芥川賞・直木賞150回（2014年2月）  
の記念行事について（詳細未定）
- ・11月21日、保有債券の一部を買換え（みずほフィナンシャルグループ社債74万USドルを売  
却、日本生命保険相互会社社債74万USドルを購入）
- ・博物館問題研究会7名来館（文学館活動の見学・質疑応答。国立ハンセン病資料館、宮内庁  
書陵部など）
- ・12月13日、理事長が年末の挨拶のため石橋財団を訪問。
- ・12月20日、目黒区みどり公園課から、借地料更新（2013～2015年）の通知。1月10日協  
議。1月26日、年額4,476,175円の提示あり。

- ・12月21日、石橋財団の西嶋大二常務理事と田所夏子氏来館。「声のライブラリー」を閲覧公開する計画も助成申請するよう提案をいただく。
- ・1月22日、保有債券の一部を買換え(オーストラリア国債85万Aドルを売却、トヨタモーターファイナンス社債87万Aドルを購入)
- ・1月31日、2012年1月～12月に維持会・友の会はじめ寄付をくださった方々に確定申告用の税額控除申請書類と案内を送付。
- ・2月1日、山梨県立文学館・小石川正文学芸部長ほか2名見学。
- ・3月26日、内閣府公益認定等委員会に、2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)の事業計画・予算を提出。

#### ◇逝去された方

- ・10月13日 丸谷才一氏(元理事、寄贈者)
- ・1月26日 安岡章太郎氏(元理事、運営審議会委員、寄贈者)
- ・3月7日 国正道夫氏(旧職員、前神奈川近代文学館事務局長)

#### <主な寄贈>

- 4/5 安達裕之氏から海事史学者・石井謙治氏旧蔵資料として、石井氏、小林秀雄、河上徹太郎らが主催したコンサート「Friends of music」のパンフレットNo.1～6(昭和33)と、關根九雀『繪詩集』(私家版 昭和14)。
- 4/18 森下賀代子氏から夏目漱石の鈴木三重吉宛・猫の死亡通知はがき(明治41.9.14 軸装)。尊父の米虫貞義氏旧蔵(1974死去)。
- 4/24 村上康子氏(村上浪六令孫・村上信彦長女)から浪六著書48冊と写真ほか、村上信彦宛諸家書簡(小山いと子、家永三郎、岡本潤、山川菊栄ほか)、信彦と高群逸枝の往復書簡。また、佐藤留以子氏(康子氏従妹)から浪六のクマ夫人宛書簡。
- 5/1 楠山三香男氏(楠山正雄三男)から坪内逍遙書軸、逍遙訳『シェークスピア全集』1巻本(昭和27)など。
- 5/8、29 丸谷才一氏から原稿、来簡など計22箱。
- 5/9 菊地亨子氏(詩人・菊地貞三夫人)から貞三著書12冊。
- 5/15 福島英子氏(作家・赤江行夫次女)から雑誌「大衆文芸」、映画台本、切抜、写真など。
- 5/16 伊藤礼氏から伊藤整『近代日本の文学史』(昭和33 光文社)訂正本と、夏葉社刊行の同作1冊。
- 5/24 田邊園子氏(元河出書房)から倉橋由美子、辻邦生、佐多稲子ほかの書簡、芦川保の『時に佇つ』(1976)挿絵版画、佐々木基一油彩画。
- 6/5 中村稔氏から『私の昭和史』戦後篇・続の原稿と詩「慟哭賦」紙本。
- 6/12 大阪府立中之島図書館から、大阪文学学校より寄贈された同人誌のうち、大阪関係以外のものなど5箱(444タイトル数、1072冊)。
- 6/27 川瀬宮子氏から泉鏡花短冊、井上哲次郎を囲む集合写真、『登張竹風遺稿追想集』(1965)。
- 7/5 堀内留女氏から稲垣達郎文庫追加図書ほか、木村莊八画など額4点。

- 7/26 中村稔氏から大色紙「ツワブキの花一輪」。
- 7/27 宮本立江氏（ナウカ出版）から、ナウカ社刊行書（図書 24 冊 雑誌 1 冊）。
- 7/27 村上康子氏から図書 65 冊（村上信彦・浪六著書）、信彦編集発行の雑誌「熊蜂」4 冊。
- 8/8 窪川健造氏（佐多稲子長男）から稲子遺品の着物（畳紙に「川端様」と墨書）。
- 8/23 鹿島田真希氏から第 147 回芥川賞受賞作「冥土めぐり」冒頭浄書原稿。
- 9/5 坂井セシル氏から著書『*Kawabata, le clair-obscur : essai sur une écriture de l'ambiguïté*』（2001）
- 9/6 北川安正氏（北川桃雄遺族）から『楠木清方文集』（昭和 54～55 白鳳社）全 8 冊。
- 9/8 いいしんじ氏から第 70 回「声のライブラリー」の際に行った「その場小説」の原稿「道」。
- 9/11 川島かほる氏を通して吉増剛造氏から、高見順詩・清水脩作曲「詩の淵より」（朗読・吉増剛造）の LP レコード（1975）。
- 10/2 金子兜太氏から「被曝の牛たち水田に立ちて死を待てり」など紙本 2 種 3 点。
- 10/3 浅海正彦氏から吉本隆明「共同幻想論 5 他界論」原稿、吉本隆明関係図書・雑誌計 19 冊、「連作詩篇」切抜ファイル。
- 10/11 岩井允子<sup>のぶ</sup>氏（童話作家岩井信實・ゆき子長女）から以下の大正期の童謡関係資料。  
『お月さま』（石塚松雲堂 大正 10）など信實著書 3 冊、詩雑誌「坩堝」1 冊（大正 11）、ノート 2 冊、幼児期の允子氏の口頭詩を掲載した「童謡・童話」4 冊（大正 11～14）、絵雑誌「ヨロコビ」2 冊、「青い鳥楽譜」（大正 13～昭和 2）ほか。
- 10/12 大内要三氏（英文学者・早大名誉教授の故大内義一子息）から「早稲田文科」7 冊（昭 8～9）と遺稿集『書きたきことの多くあり』（窓社）。
- 10/24 中村稔氏から著書『樋口一葉考』（青土社）。
- 10/27 宮崎啓子氏から吉野弘書簡（「一枚の写真」詩稿在中）。
- 10/28 森下賀代子氏から「明治・大正・昭和 三大文豪展覧会」（昭和 25）目録など 3 点（米虫貞義氏旧蔵）。
- 10/30 林博子氏（元・ギャラリー「辛夷館」経営）から、太田青丘、宮終二、渡辺順三など 67 氏 248 通の確田のぼる宛書簡。
- 11/2 寺崎勲子<sup>いさこ</sup>氏（寺崎浩長女）から、「ゴルキー通りの女」など寺崎浩原稿・草稿計 20 点、自筆楽譜、旧蔵書など（計 6 箱）。
- 11/6 尾形明子氏から『華やかな孤独 作家林芙美子』（藤原書店）。
- 11/9 水野真知子氏から、紫式部学会（昭和 7 年創立）の発足と運営に尽力した栗山津禰の資料として、著書『紫式部学会と私』（表現社 昭 34）、学会の仲間に宛てた書簡、東洋大学関係資料コピーなど。
- 11/13 宮田重雄令孫の宮田佳子氏から、重雄筆の清元帖・小唄帖など 4 冊、小糸源太郎、富安風生らの書簡 23 通ほか、写真、新派公演ポスター、図書など。
- 11/14 藤井道子氏から大町桂月訳『新訳 先哲叢談』（学生文庫 明 44）など図書 7 冊。
- 11/15 東郷克美氏から著書『井伏鱒二という姿勢』（ゆまに書房）。
- 11/21 栗木京子氏から、色紙「みづからをこの世にすべて零し終へ消ゆればたのし鳳仙花咲く」（『しらまゆみ』所収）。

- 11/21 須田喜代次氏から氏校注『鷗外近代小説集』第4巻（岩波書店）。
- 11/22 山崎一穎氏から著書『森鷗外 国家と作家の狭間で』（新日本出版社）。
- 11/28 新井信<sup>まこと</sup>氏（元文藝春秋副社長）から、岳父の故香西昇氏旧蔵の直木三十五「大阪落城」原稿（部分）ほか草稿、写真、囲碁免状など（館報報告では香西家からの寄贈）。
- 11/29 鷹羽狩行氏から「人の世に花を絶やさず返り花」など2首の紙本5点と『鷹羽狩行筆墨集』2冊。
- 11/30 江口渙夫人江口栄子氏から、松本清張の渙宛書簡など3通。
- 11/30 吉本隆明長女吉本多子<sup>まゆ</sup>氏から、吉本家書齋に残っていた書類など27箱（要調査、隆明関係資料のみ受入とすることで諒承済）。
- 12/4 千葉俊二氏から著書『物語のモラル 谷崎潤一郎・寺田寅彦など』（青蛙房）。
- 12/5 中村稔氏から詩「三陸海岸風景」紙本（6/5受贈「慟哭賦」の決定稿）。
- 12/6 関口安義氏から同氏編『生誕120年 芥川龍之介』（翰林書房）。
- 12/4（追記）新井信氏から小説家・シナリオ作家の浅野武男資料として『青空役者』（労働文化社昭21）などの著書、原稿・草稿、来簡、演劇・放送台本、切抜、写真など多数。
- 12/20 来嶋靖生氏から永井荷風「浅草交響曲筋書」タイプ原稿（作曲家菅原明朗旧蔵）。
- 12/20 来嶋靖生氏を通して、下田美代子氏（桂園派歌人、松浦辰男1843-1909の令孫）から、松浦辰男<sup>しゅうへい</sup>の著書5冊と遺墨（短冊87、軸5）ほか、長女・田女子、有栖川宮<sup>なかつと</sup>親王、毛利元徳、久我建通の書。
- 12/21 松村正直氏から（「塔」編集長）「塔」欠号70冊。  
（2013年）
- 1/8 永田和宏氏から紙本「たつたひとり君だけが抜けし秋の日のコスモスに射すこの世の光」。
- 1/10 佐佐木幸綱氏から紙本「満開の桜ずずんと四股をふみわれは古代の王としてたつ」。
- 1/11 黒田杏子<sup>ももこ</sup>氏から色紙「水仙のひとかたまりの香とおもふ」2種。
- 1/16 辻村深月氏から第147回直木賞受賞作「鍵のない夢を見る 仁志野町の泥棒」冒頭浄書原稿1枚。
- 1/18 佐岐えりぬ氏から1930年代の中村真一郎日記。『中村真一郎青春日記』原本資料で、刊行後発行元の水声社で保管されていたもの。
- 1/23 新井信氏を通して香西家から、11/28寄贈の直木三十五資料追加として「新篇鍵屋ノ辻」など原稿・草稿3点と書簡7通。
- 2/1 藤田三男氏を通して井上由美子氏（和田芳恵著作権者）から、勝本清一郎「一葉・われは女なりけるものを」手入稿（和田芳恵旧蔵、他筆浄書原稿に手入れ、「自由婦人」昭23・8～9掲載）。
- 1/26 山崎一穎氏から『森志げ小説全集』上・下（同氏監修 森鷗外記念館）。
- 2/5 入沢康夫氏から『葉紀<sup>すきのりほ</sup>甫漢詩詞集』1・2（私家版 早川彰美 1990-1992）。
- 2/13、20 丸谷才一長男根村亮氏から「輝く日の宮」創作ノートほか原稿・草稿・ノート、堀口大學他の署名献呈本、井上ひさし・谷崎松子・辻邦生・福永武彦・吉田健一他からの来簡多数。
- 2/19 藤倉利恵子氏（作家・藤倉四郎1925-2010 夫人）から四郎宛諸氏書簡18通（小川未明、野上弥生子、松本かつち ほか）。



- 2/20 稲葉真弓氏から詩稿「椿を沈める」(紙木)。
- 2/23 浦西和彦・増田周子・荒井真理亜氏から『大阪文藝雑誌総覧』(和泉書院)。
- 3/7 青木真木子氏(萩原朔太郎妹・廣瀬若子の曾孫)から、朔太郎が若子および姪に宛てた書簡3通(昭和6~8年頃 全集未収録)、佐藤惣之助の廣瀬若子宛はがき、朔太郎結婚記念写真。受入先名は青木氏母堂の故松岡淑子氏とする。
- 3/15 2月に続き丸谷才一長男根村亮氏から、野間文芸賞・泉鏡花賞記念品、献呈本25冊、原稿、ノート、書簡の追加。
- 3/16 伊藤礼氏から伊藤整宛諸家弔辞7通、原民喜推定の原稿ほか。
- 3/21 横山和夫氏ご遺族から、故横山武夫氏(太宰展出品者・和夫氏の父)旧蔵の太宰治資料。
- 3/28 馬場あき子氏から紙本「秋ふかし閑上太鼓打つはなく人なく瓦礫の中をゆく犬」2種。
- 3/29 渡邊澄子氏から御著書『男漱石を女が読む』(世界思想社)

#### <購入>

- 12/22 川端康成「虹」原稿 (図書資料委員会古書店めぐりによる購入)。  
(2013年)
- 2/1 書幅3点(八木書店より購入)  
高浜虚子句幅「一片の落花見送る静かな」/三好達治句幅「せきれいのよけて走りし落椿」/北原白秋歌幅「白南風のてりはののばらすぎにけりかはづのこゑも田にしめりつつ」

#### <寄託>

- 4/3 山縣恒子氏(故山縣元彦氏夫人) 元彦氏寄託の夏目漱石「明暗」原稿の再寄託契約。
- 7/21 中村稔氏 斎藤茂吉、加藤楸邨書軸2点の寄託契約。

#### <出品等協力>

- ・ 石川啄木記念館「啄木からのメッセージ~今日を見つめて」展(4/10~7/4)に啄木「病院の窓」「天鷲絨」原稿レプリカ2点。
- ・ 神奈川県立近代文学館「茂吉再生一生誕130年 斎藤茂吉」展(4/28~6/10)に茂吉歌稿、茂吉・芥川宛書簡など全17点。
- ・ 四国民家博物館「かえる・蛙・カエル~サイデンステッカーコレクション~」展(4/28~7/1)に川端康成・谷崎潤一郎 サイデンステッカー宛書簡、永井荷風軸3本など全7点。
- ・ 武者小路実篤記念館「手紙に見る 実篤への思い~岸田劉生・長与善郎・千家元麿~」(4/28~6/3)に「フェウザン」など雑誌3冊。
- ・ 菊池寛記念館「川端康成展 日本的抒情の世界」展(6/9~7/22)に川端「雪国」メモ、「禽獣」原稿など計23冊。
- ・ 豊田市美術館「カルペ・ディエム 花として今日を生きる」展(6/30~9/23)に森鷗外『即興詩人』(上・下)、「志がらみ草紙」。
- ・ 神奈川近代文学館「中野重治の手紙 『愛しき者へ』」展(6/16~8/5)に重治訳稿、画帳、

遺品など計 12 点。

- ・ 中原中也念館「中原中也の手紙—安原喜弘との交友」展 (8/30~10/29) に雑誌 3 点。
- ・ 鎌倉文学館「生誕 820 年 源実朝」展 (10/6~12/9) に太宰治原稿「右大臣実朝」など 10 点。
- ・ 世田谷文学館「斎藤茂吉と『楡家の人々』」展 (10/6~12/2) に書簡・原稿など 6 点。
- ・ 神奈川近代文学館「島崎藤村展」(10/6~11/18) に藤村トランク、書簡など 15 点。
- ・ 石川啄木記念館「啄木と節子のモダニズム」展 (10/6~11/30) に「雲は天才である」など原稿 2 点。
- ・ 岡本太郎美術館 常設展「岡本太郎の少年時代」展 (10/12~2013/1/14) の前期分として雑誌「三田詩城」2 冊。
- ・ 室生犀星記念館「小説家犀星の誕生」展 (10/19~11/18) に樗陰コレクションの犀星原稿・書簡 14 点。
- ・ 目黒区美術館「もうひとつの川村清雄」展 (10/20~12/16) に森鷗外『妄人妄語』、長田忠一『王冠』。
- ・ 武者小路実篤記念館「本の美—装幀と挿絵」展 (10/27~12/2) に実篤「友情」新聞切抜。
- ・ 横須賀美術館「没後 30 年 朝井閑右衛門展」展 (11/3~12/25) に朝井画「追憶の高見順」。
- ・ 台東区立一葉記念館「樋口一葉輝きの瞬間」展 (10/2~12/24) 後期に「おおつごもり」未定稿 (11/7 貸出)。
- ・ 国文学研究資料館「樋口一葉「たけくらべ」自筆原稿」展 (11/12~11/20) に雑誌 4 冊。
- ・ 与謝野晶子文芸館「与謝野晶子と旅」展 (11/17~2013/1/14) に書簡、絵はがき帖、着物、絵画など。
- ・ 川崎市岡本太郎美術館「岡本太郎の少年時代」展 (前出) 後期分として「三田詩城」2 冊。
- ・ 所沢小林多喜二祭実行委員会「第 3 回多喜二祭 in 所沢」(2/18 の 1 日のみ) に多喜二のコート 2 着。
- ・ 橘曙覧記念文学館「作家のトランク」展 (3/16~5/6) に島崎藤村のトランク。

#### 第 49 回夏の文学教室「文学・「土地」の力」

(7 月 30 日~8 月 4 日、午後 1 時~4 時 20 分、よみうりホール、後援・読売新聞社)

- 30 (月) 日高昭二 北をめざす人々  
伊藤比呂美 土着のチカラ  
坂東玉三郎 泉鏡花の世界 (聞き手・真山仁)
- 31 (火) 桜庭一樹 故郷を書くために、故郷を離れるということ  
中沢新一 谷崎潤一郎と織田作之助—大阪アースダイバーから—  
高橋陸郎 歌枕とトポスの力
- 1 (水) 木内 昇 文士日記にみる東京  
川本三郎 鉄道が作り出した風景—夏目漱石から松本清張まで  
浅田次郎 江戸の基礎知識

- 2 (木) 稲葉真弓 志摩半島—地霊との出会い  
藤田宜永 三島由紀夫の場所(トポス) 「沈める滝」を中心に  
町田 康 めっさ、むっさ、げっさ
- 3 (金) 坪内稔典 山頭火の海・放哉の山  
西村賢太 藤澤清造—故郷を思わざる心  
荒川洋治 文学の土
- 4 (土) 磯崎憲一郎 小説を駆動する力  
高橋源一郎 「根無し草」であること  
古井由吉 所のない文学

2013. 6. 8